Victor

ご使用のまえにお読みください　～ハードディスクムービーの取り扱いについて～

取扱説明書とあわせてお読みいただき、本機をご活用ください。
なお、取扱説明書の『応用編』は PDF マニュアルとして付属の CD-ROM に収められています。（基本編 P.10）

■大切な記録データはバックアップしてください。

大切な記録データを保護するために、記録したファイルはパソコンへコピーしてください。また、パソコンから DVD などにコピーして保存することをお勧めします。（パソコンへの接続は：　基本編 P.43）

■大切な記録のまえには、ためし撮りをしてください。

撮ったところを再生してみて、画面と音が記録されていることをご確認ください。
（撮影、再生のしかたは：　基本編 P.32 ～ P.39）

■正常に動作しないときは、カメラをリセットしてください。

このカメラはマイコンを使用しています。周囲の雑音、妨害ノイズ、その他の理由により正常に動作しないことがあります。正常に動作しないときは、カメラをリセットする必要があります。リセットするには、MENU ボタンと MODE ボタンを同時に約 5 秒間押し続けます。それでも正常に動作しないときは、電源ダイヤルまたは電源スイッチを「OFF」にあわせて電源を切ったあとに、カメラから電源（バッテリー、AC アダプター）を取りはずして、再度取り付けてください。

■使用できるメディアをご確認ください。

次の記録用メディアで動作確認をしています。その他のメディアでは動作保証していませんので、市販のメディアをお使いになるときは、十分にご注意ください。

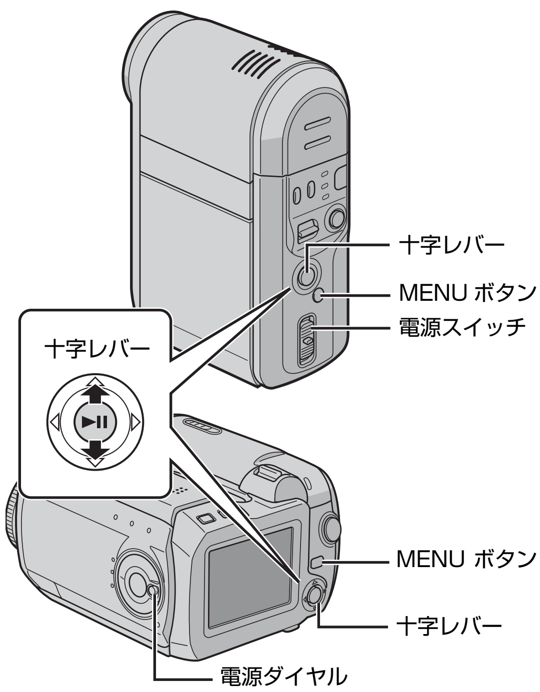
- ●小型ハードディスク　：日立製マイクロドライブ
- ●コンパクトフラッシュカード：LEXAR 製、SanDisk 製、ハギワラシスコム製
- ● SD メモリーカード　：松下製、東芝製、SanDisk 製

・ その他のメディアをお使いになると、正しく記録できなかったり、すでに記録済みのデータが消去されることがあります。
・ 1GB 以下のマイクロドライブには対応していません。
・ マルチメディアカードには対応していません。
・ 動画撮影または静止画の連写（連続撮影）をするときは、小型ハードディスク、高速タイプのコンパクトフラッシュカード（40 倍速以上）、SD メモリーカード（10MB/s 以上）をお使いください。

■メディアをフォーマットしてからお使いください。

本機をお使いになるまえに、付属の小型ハードディスクをメニューのフォーマット機能でフォーマットしてください。また、新しく買った CF カード（小型ハードディスク、コンパクトフラッシュカード）や SD メモリーカードも本機でフォーマットしてからお使いください。メディアへアクセスする速度などが安定します。

＜フォーマットするには＞
①電源ダイヤルまたは電源スイッチを にあわせる
② MENU ボタンを押す
③十字レバー ▲▼ で「メディア設定」を選び、レバーを押す
④十字レバー ▲▼ で「フォーマット」を選び、レバーを押す
⑤十字レバー ▲▼ で「CF スロット」または「SD スロット」を選び、レバーを押す
・「CF スロット」: 小型ハードディスクまたはコンパクトフラッシュカード
・「SD スロット」: SD メモリーカード
⑥十字レバー ▲▼ で「実行」を選び、レバーを押す



■撮影するときはカメラの持ち方にご注意ください。

レンズ、ステレオマイク、カメラセンサー、フラッシュ、フラッシュセンサー付近を指などでふさがないでください。
（各部の位置は：　基本編 P.13）

■修理を依頼されるときは、カメラと小型ハードディスクを一緒にお持ち込みください。

どちらかが無いと不具合の原因が診断できないために、正しく修理できません。
(修理のご依頼については：　基本編 P.63)

裏面もお読みください。

LYT1335-007A
M4S3/S5 0904HOH-HT-VP

準備について

■動画、静止画、ボイスメモの記録先は
お買い上げ時には、動画、静止画、ボイスメモのすべてを CF カードへ記録するように設定されています。動画、静止画、ボイスメモを SD カードに記録するときは、「メディア設定」の「動画モード」、「静止画モード」、「ボイスモード」のそれぞれを「SD スロット」に変更してください。
(記録先を変更するには；基本編 P.28)

電源について

■電源が入った状態で CF カード用のカバーを開けたときや、SD メモリーカードを取り出したときは
メディアのデータ保護のために、電源が自動的に切れます。電源ダイヤルまたは電源スイッチを動かして電源を入れなおしてください。

■操作せずに一定時間が過ぎると
・バッテリー使用時は節電のために電源が自動的に切れます。電源ダイヤルまたは電源スイッチを動かして電源を入れなおしてください。
・AC アダプター使用時はアクセスランプが点灯し、液晶画面が消えた状態（スリープモード）になります。何か操作すると復帰します。

撮影について

■マニュアル撮影に切り替えるときは
ピントを手動で調節したいときや映像に効果（エフェクト）を加えて撮影したいときなどは、マニュアル撮影に切り替えます。十字レバーを右に押し続けて、画面左上に「Ⓜ」を表示させてください。(マニュアル撮影での各機能は；　応用編 P.74)

■静止画の連写（連続撮影）速度は
連写を続けたとき、または使用するメディアや撮影条件によって連写速度は低下します。(連写については；　応用編 P.103)

■「メディアへ記録できませんでした」と表示されたときは
・メディアの性能が低下している　→　メニューのクリーンアップ機能を実行してください。(クリーンアップ機能については；　応用編 P.101)
・メディアの書き込み速度が遅い、またはメディアが壊れている　→　動作確認済みのメディアをお使いください。(おもて面)
・振動や衝撃が加えられた　→　振動や衝撃を与えないようにご注意ください。

再生について

■動画再生時の日時表示は
動画再生時は日時が表示されません。一時停止中に INFO ボタンを押すと、ファイル情報で撮影開始日時を確認できます。

■動画再生時と静止画再生時に画面表示を消したいときは
INFO ボタンを押して、表示を切り替えてください。

■ハードディスクの表面に傷があると
ハードディスクの表面に傷などがあると、データが読み取りにくくなります。本機はできる限り再生しようとしますが、動画再生時には同じ映像が長く止まって見えたり、映像がカクカクした動きに見えることがあります。ボイスメモ再生時には、音声が出ない状態がしばらく続くことがあります。この状態が長く続いても、再生できない場合は自動的に停止します。

■動画再生時のシーンとシーンのつなぎ部分では
映像が一瞬止まったり、音が途切れることがありますが、故障ではありません。

パソコンについて

■メディア内のファイルをパソコンで再生するときは
ファイルをパソコンにコピーしてから再生してください。パソコンから直接メディア内のファイルを再生すると、処理速度の問題などにより、正しく再生できないことがあります。また、動画ファイルを再生するときは、付属のソフトウェア PowerDVD 5 NE をお使いください。
(パソコンへの接続は；　基本編 P.43)

■メディア内のファイルをパソコンへコピーするときは
USB 1.1 端子のパソコンでは、ファイル転送に時間がかかります。USB 2.0 端子が標準装備されているパソコンをお使いになることをお勧めします。

■すでに PowerDirector/PowerProducer/PowerDVD がパソコンにインストールされている場合でも
本機で記録した動画ファイルは、付属のソフトウェアでのみ扱えます。付属のソフトウェア (PowerDirector Express NE/PowerProducer 2 Gold NE/ PowerDVD 5 NE) をインストールしてお使いください。すでに PowerDirector/PowerProducer/PowerDVD がインストールされているパソコンでは、アンインストールしてから付属のソフトウェアがインストールされます。

■PowerDirector Express NE で編集した動画ファイルをカメラで再生するときは
SVRT 機能を OFF にして編集してください。(「SVRT を使用する」にチェックを入れないでください。)

■PowerDirector Express NE/ Power Producer 2 Gold NE/ PowerDVD 5 NE の概要は
CyberLink のホームページでもご覧いただけます。(http://www2.cli.co.jp/products/ne/)

その他について

■メディアに多数の静止画（約 1000 枚以上）が入っているときは
メディアに多数の静止画（約 1000 枚以上）が入った状態で、電源を入れたときや MODE を切り替えたときは処理に時間がかかります。記録したファイルはパソコンへコピーして、メディアからは削除することをお勧めします。

■「動画管理ファイルが壊れています」と表示されたときは
十字レバー▲▼で「はい」を選び、レバーを押してファイルを修復してください。修復したにも関わらず、必要なファイルが動画インデックス画面に表示されないときは、EXTMOV フォルダにファイルが移動されています。インデックス画面で撮影ボタンを押し、「MPG」と表示させてからファイルを選択してください。(EXTMOV フォルダについては；　基本編 P.45、51)

■ダイレクトプリントで印刷する場合は
メニューでダイレクトプリントを選んでから、USB ケーブルを接続してください。プリンターを認識しなかった場合やダイレクトプリントで印刷したあとに、もう一度印刷する場合は、一度 USB ケーブルを取りはずし、再度メニューでダイレクトプリントを選んでから、接続しなおしてください。
(ダイレクトプリントについては；　応用編 P.92)

■DPOF のインデックス画面では
・静止画を選んでズームレバーを T 側へ押し続けているあいだ、静止画のプレビュー画面を表示できます。
・「設定済みを確認」を選んだときのインデックス画面では、設定を解除 (🗑) できません。解除するときは印刷枚数を「0」に設定してください。
(DPOF については；　応用編 P.90)

■動画ファイルのファイル名は
16 進数の連番でつけられます。

このシートをお読みになったあとは、取扱説明書と一緒に保管し、必要なときにお読みください。